

第108回全国高等学校野球選手権岩手大会

花高野球部通信

2026/7/27(月)

第52号

花泉高校野球部
広報担当

7年ぶりベスト16への道
人数を言い訳にしない野球を貫く

熱闘の記録

【第1回戦】

北桜戦 (7月6日/JALスタジアム花巻)

粘りの野球で白星発進! 一丸で掴んだ接戦勝利

スコア・花泉 6-4 北桜

夏の初戦、独特の緊張感が漂う中で迎えた北桜高校との一戦は、互いの意地とプライドがぶつかり合う接戦となりました。

序盤から一歩も引かない展開の中、花泉打線は少ない好機を確実にものにし、泥臭く得点を重ねていきます。投手陣も味方の粘り強い守備に支えられ、相手の反撃を最小限に食い止めました。

最後まで「あいつ、心配り、あきらめない心」を体現し、チーム一丸となつてリードを守り切った花泉が6-4で勝利。見事、初戦突破を果たしました。

【第2回戦】

連合チーム戦 (7月14日/JALスタジアム花巻)

立ち向かう姿勢で勝利を引き寄せ、7年ぶりベスト16進出!

スコア・花泉 4-1 伊保内・葛巻・平館連合

2回戦は、伊保内・葛巻・平館の3校連合チームとの対戦。相手の勢いに飲み込まれることなく、花泉は試合序盤から主導権を握る落着いた戦いぶりを見せました。

投打が噛み合った花泉は、攻撃では果敢な走塁と確実な繋ぎで着実に加点。守備では幾度かのピンチを背負いながらも、声を掛け合いファインプレーで切り抜けました。4-1で勝利を収めた花泉は、チームとして7年ぶりとなるベスト16進出を達成。少人数ながらも互いを信じ抜く「全員野球」の真価を発揮した一戦となりました。

【第3回戦】

花巻東戦 (7月17日/きたぎんボールパーク)

王者に挑んだ熱い夏、最後まで諦めない「花泉魂」

スコア・花泉 0-7 花巻東 (7回コールド)

ベスト8をかけた3回戦の相手は、県内屈指の絶対王者・花巻東高校。きたぎんボールパークという大舞台で、花泉ナインは強敵相手にも臆することなく真つ向勝負を挑みました。

序盤、先発投手をはじめとする投手陣が粘りの投球を見せ、野手陣も外野の一步目の出足の早さや内野の果敢なダイビングキャッチで強打を防ぎ止め、中盤まで緊迫したゲームを展開。攻撃面でも格上の相手に対して果敢に盗塁を仕掛け、食らいつつ姿勢を貫きました。

結果は0-7 (7回コールド) で敗戦となりましたが、最後まで笑顔を忘れず、全力で声を掛け合い最後まで闘い抜いた球児たちの姿は本当に誇らしいものでした。スタンドからの応援にもたくさんの場弁で救っていただき、ありがとうございました。

球場に咲かせた

「あきらめない心」の花

花泉高校野球部、夏の総括

部員・助っ人を含めて12人で挑んだ今大会。選手層の厚さや実戦練習の環境において決して恵まれていたわけではありません。しかし選手は、「人数が少ないこと」を言い訳にするのではなく、少人数だからこそ生まれる「圧倒的な一体感」と「一人ひとりの役割意識の高さ」を自らの強みへと昇華させました。

初戦の北桜戦、2回戦の連合チーム戦で見せた粘り強い全員野球で、見事に掴み取った7年ぶりのベスト16進出。そして、王者・花巻東との3回戦で見せた、強打に正面から立ち向かう守備と隙を突く貪欲な走塁。

「勝敗より大切なこと」を全身で証明してくれた12人のナイン、そして彼らを温かく支え続けた保護者・地域・同窓生・PTAの皆様、心から感謝します。この夏、球場に刻んだ胸を張れる足跡は、これからの花泉高校、そして選手一人ひとりの未来へ確実に引き継がれていきます。3回戦学校で試合を見守ってくれた花小のみなさん、温かい応援、本当にありがとうございました!



花高

Baseball